平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月６日

上場会社名　　カネ美食品株式会社　　上場取引所 大
コード番号　　2669　　ＵＲＬ　http://www.kanemi-foods.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）三輪　幸太郎
問合せ先責任者　（役職名）経理財務部長　　（氏名）伊藤　誠　　ＴＥＬ　052-895-2141

四半期報告書提出予定日　　平成24年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	19,214	△2.5	172	△70.0	204	△67.0	270	△7.7
24年３月期第１四半期	19,722	1.1	576	48.0	620	40.0	292	35.5

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　57百万円（△76.9%）　24年３月期第１四半期　249百万円（111.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	27.14	－
24年３月期第１四半期	29.73	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第１四半期	30,933	23,677	76.5	2,377.72
24年３月期	31,589	23,874	75.6	2,397.01

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　23,677百万円　24年３月期　23,874百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	25.00	－	25.00	50.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		25.00	－	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	41,084	0.5	1,331	△19.3	1,359	△21.9	854	46.7	85.74
通期	82,718	1.4	2,680	△7.2	2,745	△9.5	1,604	8.8	161.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：有
④　修正再表示	：無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	10,000,000株	24年３月期	10,000,000株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	42,115株	24年３月期	39,915株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	9,959,594株	24年３月期１Ｑ	9,852,628株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きを実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8
５．主要な経営指標等の推移 …… 9
（１）主要な連結経営指標等の推移 …… 9
（２）主要な個別経営指標等の推移 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災からの復興需要等を背景として緩やかに回復しているものの、欧州債務危機に端を発した世界経済の減速感の広がりや長引く円高など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

雇用・所得環境が緩やかに回復基調にある中、個人消費においては消費マインドの改善傾向に加え、エコカー補助金制度等の政策効果もあり、緩やかな増加基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループは創業時からの経営の基本方針である「品質・清潔・接客」（おいしい商品をきれいな場所で愛想よく販売するという当たり前のことを当たり前に継続して行っていくこと）を再確認し、新しい可能性を切り拓くための土台作りに努めてまいりました。

当社グループ及び報告セグメントの当第１四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

①　売上高（セグメント間の内部売上高を除く。）

当第１四半期連結累計期間の売上高は前年同期間と比べ2.5％減収の192億14百万円となりました。

テナント事業においては、新たに洋風惣菜店舗１店舗を出店した他、既存店舗７店舗の改装を行うことにより、売場の活性化を図ってまいりました。また、自社企画として「惣菜感謝セール」を毎月開催し、購買意欲を刺激する施策を講じてまいりました。これらの結果、テナント事業の売上高は前年同期間と比べ、1.2％増収の96億59百万円となりました。

外販事業においては、「おにぎりの全面リニューアル」と「おにぎり100円セール」を同時に実施し、消費者の需要喚起に努め、売上高の回復を図りましたが、低迷する米飯部門全体を押し上げるまでにはいたらず、厳しい状況での推移となりました。

その一方でコンビニエンス部門以外においては、生活協同組合から受託している夕食宅配弁当の納品エリアを新たに拡大させることにより、納品数量は順調に推移しております。これらの結果、外販事業の売上高は、前年同期間と比べ、6.3％減収の93億61百万円となりました。

②　営業利益

当第１四半期連結累計期間の営業利益は前年同期間と比べ70.0％減益の１億72百万円となりました。

テナント事業においては、既存店舗の改装を実施することにより売上高の増加を図った反面、電気やガスの単価アップに伴う共益費の増加が利益の圧迫要因となり、テナント事業のセグメント利益は前年同期間と比べ7.8％減益の４億30百万円となりました。

外販事業においては、売上高の落ち込みが大きく影響している他、当連結会計年度の７月より新たに株式会社サークルＫサンクスへチルド弁当の納品を開始するため、既存の２工場の改装工事を実施した事による設備投資費用の負担及び従業員への休業補償等の負担が大きく影響し、外販事業は２億47百万円のセグメント損失となりました。（前年同期間のセグメント利益は１億35百万円）

③　経常利益

当第１四半期連結累計期間の経常利益は、上述の要因等により、前年同期間と比べ67.0％減益の２億４百万円となりました。

④　特別利益

当第１四半期連結累計期間において、投資有価証券売却益２億95百万円を特別利益として計上しました。

⑤　四半期純利益

当第１四半期連結累計期間の四半期純利益は、前年同期間と比べ7.7％減益の２億70百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ６億55百万円減少し、309億33百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却などにより８億40百万円減少した一方、既存２工場の改修工事に伴い設備投資を実施したことにより有形固定資産が３億22百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ４億58百万円減少し、72億56百万円となりました。

この主な要因は、買掛金の減少１億44百万円及び未払法人税等の減少３億20百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ１億97百万減少し、236億77百万円となりました。

この主な要因は、四半期純利益による繰越利益剰余金が２億70百万円増加した一方で、配当金の支払額が２億49百万円、その他有価証券評価差額金が２億12百万円減少したことによります。

これらにより、当第１四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の75.6％から76.5％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月14日に公表いたしました連結業績予想への変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,751千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,683,798	11,830,082
売掛金	3,798,017	3,433,310
有価証券	999,807	999,804
商品及び製品	16,600	19,467
仕掛品	81,834	77,653
原材料及び貯蔵品	486,522	486,353
繰延税金資産	442,463	404,754
その他	258,083	312,050
流動資産合計	17,767,128	17,563,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,383,840	4,465,730
機械装置及び運搬具（純額）	1,395,940	1,489,067
土地	4,519,694	4,519,694
建設仮勘定	－	100,000
その他（純額）	277,717	325,261
有形固定資産合計	10,577,193	10,899,753
無形固定資産	284,024	273,722
投資その他の資産		
投資有価証券	2,248,416	1,367,832
繰延税金資産	356,911	466,794
その他	355,575	361,754
投資その他の資産合計	2,960,903	2,196,381
固定資産合計	13,822,121	13,369,857
資産合計	31,589,249	30,933,333

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,497,699	2,353,192
未払法人税等	508,400	188,200
賞与引当金	908,400	806,800
役員賞与引当金	11,260	－
資産除去債務	170	－
その他	2,776,369	2,887,464
流動負債合計	6,702,299	6,235,657
固定負債		
退職給付引当金	798,261	808,777
資産除去債務	42,154	42,512
負ののれん	2,809	－
長期未払金	131,509	131,509
その他	37,834	37,834
固定負債合計	1,012,569	1,020,633
負債合計	7,714,868	7,256,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金	2,174,336	2,174,336
利益剰余金	19,588,938	19,610,227
自己株式	△115,478	△121,341
株主資本合計	23,650,058	23,665,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,322	11,558
その他の包括利益累計額合計	224,322	11,558
純資産合計	23,874,381	23,677,042
負債純資産合計	31,589,249	30,933,333

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	19,722,315	19,214,429
売上原価	17,114,314	17,059,921
売上総利益	2,608,000	2,154,508
販売費及び一般管理費	2,031,247	1,981,759
営業利益	576,753	172,748
営業外収益		
受取利息	808	953
受取配当金	24,229	15,099
負ののれん償却額	4,214	2,809
不動産賃貸料	4,043	3,743
補助金収入	6,362	5,655
その他	6,840	8,664
営業外収益合計	46,497	36,925
営業外費用		
不動産賃貸原価	2,144	2,400
災害による損失	－	1,380
消費税等差額	－	1,197
その他	197	251
営業外費用合計	2,342	5,229
経常利益	620,909	204,444
特別利益		
固定資産売却益	47	－
投資有価証券売却益	－	295,596
特別利益	47	295,596
特別損失		
固定資産売却損	44	－
固定資産除却損	13,391	17,264
減損損失	854	－
特別損失合計	14,290	17,264
税金等調整前四半期純利益	606,666	482,776
法人税、住民税及び事業税	90,907	168,524
法人税等調整額	222,791	43,960
法人税等合計	313,699	212,485
少数株主損益調整前四半期純利益	292,967	270,291
四半期純利益	292,967	270,291

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	292,967	270,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,263	△212,764
その他の包括利益合計	△43,263	△212,764
四半期包括利益	249,703	57,526
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,703	57,526

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他（千円）（注）１	合計（千円）	調整額（千円）（注）２	四半期連結損益計算書計上額（千円）
	テナント事業（千円）	外販事業（千円）	計（千円）				
売上高							
外部顧客への売上高	9,538,013	9,992,719	19,530,732	191,582	19,722,315	―	19,722,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	332,363	332,363	202,740	535,103	△535,103	―
計	9,538,013	10,325,082	19,863,096	394,322	20,257,419	△535,103	19,722,315
セグメント利益	467,278	135,423	602,702	5,452	608,154	△31,401	576,753

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△31,401千円には、人事部及び経理財務部門等の管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配分していない費用32,176千円が含まれております。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他（千円）（注）１	合計（千円）	調整額（千円）（注）２	四半期連結損益計算書計上額（千円）
	テナント事業（千円）	外販事業（千円）	計（千円）				
売上高							
外部顧客への売上高	9,659,266	9,361,825	19,021,092	193,337	19,214,429	―	19,214,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	328,444	328,444	220,742	549,186	△549,186	―
計	9,659,266	9,690,270	19,349,536	414,079	19,763,616	△549,186	19,214,429
セグメント利益又は損失（△）	430,366	△247,750	182,616	△5,213	177,403	△4,654	172,748

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△4,654千円には、人事部及び経理財務部門等の管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配分していない費用5,543千円が含まれております。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。

５．主要な経営指標等の推移

(1) 主要な連結経営指標等の推移

回次	第42期 第１四半期連結 累計期間	第43期 第１四半期連結 累計期間	第42期
会計期間	自平成23年 ４月１日 至平成23年 ６月30日	自平成24年 ４月１日 至平成24年 ６月30日	自平成23年 ４月１日 至平成24年 ３月31日
売上高（千円）	19,722,315	19,214,429	81,530,971
経常利益（千円）	620,909	204,444	3,034,696
四半期（当期）純利益（千円）	292,967	270,291	1,473,463
四半期包括利益又は包括利益（千円）	249,703	57,526	1,751,486
純資産額（千円）	22,344,028	23,677,042	23,874,381
総資産額（千円）	29,036,113	30,933,333	31,589,249
１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	29.73	27.14	149.02
自己資本比率（％）	77.0	76.5	75.6

（注）１．売上高には、消費税等は含まれておりません。

(2) 主要な個別経営指標等の推移

回次	第42期 第１四半期 累計期間	第43期 第１四半期 累計期間	第42期
会計期間	自平成23年 ４月１日 至平成23年 ６月30日	自平成24年 ４月１日 至平成24年 ６月30日	自平成23年 ４月１日 至平成24年 ３月31日
売上高（千円）	19,530,732	19,021,092	80,719,141
経常利益（千円）	614,269	208,577	2,973,459
四半期（当期）純利益（千円）	479,745	273,679	1,629,283
純資産額（千円）	22,109,874	23,415,318	23,609,269
総資産額（千円）	28,662,941	30,413,838	31,098,613
１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	48.69	27.48	164.78
自己資本比率（％）	77.1	77.0	75.9

（注）１．売上高には、消費税等は含まれておりません。